

DWS 新資源テクノロジー・ファンド (愛称:グローバル・シフト)

追加型投信／内外／株式

月次報告書

DWS

基準日: 2024年3月29日

設定・運用: ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

ファンド概況

基準価額・純資産総額

基準価額 14,332円

純資産総額 21億円

税引前分配金実績 (一万口あたり)

第61期 2023年1月 0円

第62期 2023年4月 0円

第63期 2023年7月 0円

第64期 2023年10月 0円

第65期 2024年1月 0円

設定来累計 100円

※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

<決算日>

年4回(原則として1月15日、4月15日、7月15日及び10月15日)とします。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日を決算日とします。

※上記の実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

基準価額変動の要因分解

対象期間: 2024年3月1日～2024年3月29日

基準価額の変動金額 719円

株式部分 717円

為替部分 22円

分配金 0円

信託報酬等その他部分 -20円

※金額は、対象期間における基準価額の変動を表したものです(円未満を四捨五入)。

運用実績

設定来の基準価額の推移



※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しております。ただし、設定来の分配金が0円のファンドにつきましては基準価額と重なって表示されております。
※基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を表示しております。

騰落率 (税引前分配金込)

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	5.28%	9.08%	16.36%	18.90%	35.32%	44.75%

ポートフォリオの状況(マザーファンド)

テーマ別構成比率

生活基盤	55.9%
クリーン・エネルギー	32.2%
食糧	11.9%

通貨別構成比率

アメリカ・ドル	43.9%
ユーロ	28.0%
イギリス・ポンド	12.2%
日本・円	6.4%
デンマーク・クローネ	3.8%
その他	5.7%

国別構成比率

アメリカ	38.3%
フランス	10.4%
日本	6.4%
ドイツ	6.0%
ジャージー	5.0%
その他	34.0%

※各構成比率は、マザーファンドの株式評価総額に対する比率です。
※四捨五入の関係で、合計は100%にならない場合があります。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込み

設定・運用
ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会/日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

DWS 新資源テクノロジー・ファンド (愛称:グローバル・シフト)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



設定・運用 : ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

組入上位10銘柄

銘柄	テーマ	業種	国	比率	会社概要
1 エヌビディア	クリーン・エネルギー	半導体・半導体製造装置	アメリカ	7.32%	エヌビディア (NVIDIA Corporation) は、3次元 (3D) グラフィックスプロセッサと関連ソフトウェアの設計・開発・販売会社。同社の製品は、主要パソコン向けに双方向3Dグラフィックスを提供する。
2 ファーガソン	生活基盤	資本財	ジャージー	4.99%	ファーガソン (Ferguson PLC) は空調・工業用品販売会社。暖房・換気、製造、設備供給、住宅建設向けの各製品を提供する。北米で事業を展開。
3 ディア	食糧	資本財	アメリカ	4.18%	ディア (Deere & Company) は農機具メーカー。農業、建設・林業、商業、消費者を対象に各種機械の製造・販売を手掛ける。自社製品および他社製品の交換部品も供給する。製品・部品を対象とするファイナンス・サービスも手掛ける。世界各国でサービスと製品を提供。
4 ネクサンズ	生活基盤	資本財	フランス	4.16%	ネクサンズ (Nexans S.A.) はケーブルメーカー。送電・配電用ケーブル、線材、裸線、巻線、銅および光ファイバー通信ケーブルを製造する。製品は、通信、エネルギー生産、航空、建設、自動車、IT 関連、石油化学、医療機器などの各業種に販売される。
5 ザイレム	生活基盤	資本財	アメリカ	3.64%	ザイレム (Xylem, Inc.) は上下水道関連会社。集水、給水、利用から自然に戻るまでの循環全体に適用される上下水道用の機器およびサービスを設計、製造、販売する。主な製品は、上下水道用ポンプ、処理・試験設備・装置、工業用水ポンプ、バルブ、熱交換機、給水設備・装置など。
6 荏原製作所	生活基盤	資本財	日本	3.19%	荏原 (登記社名: 荏原製作所) は空気・水力ポンプを製造。主製品には消火・水中・燃料用ポンプならびにタービンやボイラを含む。風水力事業を中心とする。また、廃棄物処理プラント、排ガス処理装置など半導体・環境関連製品も製造する。
7 アメリカン・ウォーター・ワークス	生活基盤	公益事業	アメリカ	3.15%	アメリカン・ウォーター・ワークス (American Water Works Co., Inc.) は水道会社。米国の複数の州とカナダのオンタリオ州で上下水道および水道関連サービスを提供する。主要事業は、規制対象の上下水道公益事業の保有、および住宅や商工業の顧客を対象とする上下水道サービス。
8 スマーフットカップグループ	食糧	素材	アイルランド	2.66%	スマーフット・カップ・グループ (Smurfit Kappa Group PLC) は紙製包装材料メーカー。容器用板紙、段ボール、およびその他紙製梱包材を提供する。世界各地で事業を展開。
9 ダナハー	生活基盤	医薬品・ハイテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ	2.60%	ダナハー (Danaher Corporation) は専門器具メーカー。試験、計測、環境、生命科学、歯科、工業技術などの分野で使用される専門・医療・商工業用器具を設計・製造・販売する。
10 栗田工業	生活基盤	資本財	日本	2.54%	栗田工業は水処理装置・設備の製造、販売、保守を行う。主な製品には超純粋製造・排水処理装置および土壌浄化システムなどがある。また空調、排水、建設工事などにかかわる水処理薬品などの製造、販売も手がける。
組入上位10銘柄の合計 (比率は、マザーファンドの株式評価総額に対する比率)				38.44%	組入銘柄数: 51

※出所: Bloomberg等
※業種はMSCI/S&P GICS(世界産業分類基準)によるものです。
※資本財には、建設、電気部品、産業機械、商社等が含まれます。

DWS 新資源テクノロジー・ファンド (愛称:グローバル・シフト)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



基準日: 2024年3月29日

設定・運用 : ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

ファンド・マネジャーのコメント

【先月の投資環境】

3月の世界株式市場で株価は上昇しました。パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長の議会証言や、米連邦公開市場委員会(FOMC)の政策金利見通し(中央値)で年内3回の利下げ予想が維持されたこと等から米利下げに対する期待が広がり、株価が上昇しました。また、欧州中央銀行(ECB)のラガルド総裁が6月利下げの可能性を示唆したことや、スイス中銀による予想外の利下げ等も株価を押し上げる要因となりました。為替市場では、対米ドルで小幅円安となり、対ユーロでは前月末比ほぼ変わらずでした。

当ファンドに関連するニュースとしては、国際エネルギー機関(IEA)が、2023年の世界のエネルギー関連CO2排出量は増加したものの、太陽光や風力、電気自動車などのテクノロジーの拡大により前年より増加幅は縮小したと報告しました。

【先月の運用経過】

当月は、韓国のリチウムイオン電池メーカーやオランダの半導体製造装置メーカー等を購入しました。一方、スペインの太陽光発電ソリューション会社や米国の半導体メーカーを売却しました。

当月は、人工知能(AI)向け半導体の需要増加期待が株価を押し上げた半導体メーカーのエヌビディア(米国)や、精密農業の成長に伴う収益性の拡大期待等が株価を押し上げたとみられる農機メーカーのディア(米国)、半導体関連装置の需要増加期待に加えて、株式分割の発表等が好感されたポンプメーカーの荏原製作所(日本)等の保有が基準価額にプラスに寄与しました。

【運用方針】

足元では良好な経済指標が目立っており、米景気は後退を免れ、ソフトランディングに至る可能性が高まっていると考えています。また、インフレが徐々に低下していることや企業業績の成長等も考慮すると、今後1年で世界株はさらに上昇すると見えています。一方、今年11月に米大統領選が予定されており、結果次第で政策が大きく変更される可能性があることから、近づくにつれて値動きが激しくなることも想定されます。運用にあたっては、各国の景気動向や金融政策、政策支援、為替動向などの業績への影響等を見極めつつ、キャッシュ創出力が高くかつ今後の成長性が期待できる銘柄を中心に投資を行う方針です。

※コメントは、DWSインベストメントGmbHの資料をもとに作成しております。

※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

DWS 新資源テクノロジー・ファンド (愛称:グローバル・シフト)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



設定・運用 : ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

ファンドの特色

DWS 新資源テクノロジー・マザーファンドへの投資を通じて、世界各国の株式等に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

1 グローバルな需要のシフト(変化・増大)に対応するため、注目される「3つのテーマ[※]」に関連する事業を有し、成長が見込まれる世界各国の企業の株式を中心に投資を行います。

※投資対象銘柄がいずれのテーマに関連するかの判断はDWSインベストメントGmbHの裁量によります。

3つのテーマとは…

- ① 生活基盤 : 水の供給や処理、輸送・移動手段等の生活インフラに関連する企業
- ② 食糧 : 生産性を向上させる農業技術等に関連する企業、養殖・食品加工等の企業
- ③ クリーン・エネルギー : 地球環境に優しい再生可能エネルギー等に関連する企業、二酸化炭素排出削減技術・省エネルギー等に関連する企業

2 マザーファンドに係る運用指図に関する権限を、DWSインベストメントGmbHに委託します。

DWSインベストメントGmbHはドイツ銀行グループの資産運用部門(DWS)のドイツにおける拠点です。グローバルなネットワークを駆使し、投資家の多様なニーズに応える商品開発と優れた運用実績の実現を目指します。

3 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

4 ファミリーファンド方式[※]で運用を行います。

※「ファミリーファンド方式」とは、運用及び管理面の合理化・効率化をはかるため、投資者から集めた資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドに投資して実質的な運用を行う仕組みです。

(注)市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

DWS 新資源テクノロジー・ファンド (愛称: グローバル・シフト)

追加型投信／内外／株式

月次報告書



設定・運用 : ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

① 株価変動リスク

株価は、政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

② 為替変動リスク

外貨建資産の価格は、為替レートの変動の影響を受けます。外貨建資産の価格は、通常、為替レートが円安になれば上昇しますが、円高になれば下落します。したがって、為替レートが円高になれば外貨建資産の価格が下落し、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

③ カントリーリスク

投資対象国の政治、経済情勢の変化等により、市場が混乱した場合や、組入資産の取引に関わる法制度の変更が行われた場合等には、有価証券等の価格が変動したり、投資方針に沿った運用が困難な場合があります。これらにより、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。なお、新興国への投資については、一般的に先進国への投資に比べカントリーリスクが高くなります。

④ 信用リスク

株価は、発行者の信用状況等の悪化により下落することがあり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。なお、新興国の株式は、先進国の株式に比べ、相対的に信用リスクが高くなると考えられます。

⑤ 流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

- ・マザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドの購入申込みまたは換金申込み等により、当該マザーファンドにおいて売買が生じた場合等には、当ファンドの基準価額が影響を受けることがあります。
- ・当ファンドは、大量の換金が発生し短期間で換金代金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性等があります。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

DWS 新資源テクノロジー・ファンド (愛称:グローバル・シフト)

追加型投信/内外/株式

月次報告書



設定・運用 : ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

お申込みメモ (三井住友銀行でお申込の場合のお申込手数料、お申込単位及びご換金単位です。)

- 信託期間/繰上償還 信託設定日(2007年8月31日)から無期限
残存口数が10億口を下回る場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
- 決算日 原則として毎年1月15日、4月15日、7月15日及び10月15日(休業日の場合は翌営業日)とします。
- 収益分配 年4回の毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。
(注) 将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
- 購入価額 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- 購入単位 当初申込: 20万円以上1円単位 追加申込: 1万円以上1円単位
※ 購入時手数料及び購入時手数料に係る消費税等相当額を含めて上記の単位となります。
※ 「投信自動積立」をご利用してご購入される場合は、上記にかかわらず、1万円以上1千円単位となります。
※ 「追加申込」とは、当ファンドの残高がある場合または「投信自動積立」を既にお申込の場合をいいます。
- 換金価額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額
- 換金単位 1円以上1円単位
- 換金代金支払日 原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
- 購入・換金の受付 原則として、毎営業日購入のお申込/換金のお申込を受け付けます。ただし、フランクフルト証券取引所の休業日またはフランクフルトの銀行の休業日には、受付を行いません。
- 課税関係 課税上は株式投資信託として取扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA(ニーサ))の適用対象であり、2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。
配当控除、益金不算入制度の適用はありません。
※ 上記は2023年8月末現在のものですので、税法が改正された場合等には変更される場合があります。

ファンドの費用 (投資信託は、ご購入時・ご換金時に直接ご負担いただく費用と信託財産から間接的にご負担いただく費用の合計額がかかります。)

時期	項目	費用	
投資者が直接的に負担する費用			
購入時	購入時手数料(注)	購入代金に応じて、購入申込受付日の翌営業日の基準価額に以下の手数料率を乗じて得た額	
		購入代金	手数料率
		1,000万円未満	2.75%(税抜2.5%)
		1,000万円以上5,000万円未満	2.20%(税抜2.0%)
	5,000万円以上	1.65%(税抜1.5%)	
換金時	換金手数料	ありません。	
	信託財産留保額	ありません。	
投資者が信託財産で間接的に負担する費用			
毎日	運用管理費用(信託報酬)	信託財産の純資産総額に対して年率 1.848%(税抜1.68%)	
	その他の費用・手数料	当ファンドにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、組入資産の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、租税等がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。ただし、これらの費用のうち信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率 0.10%を上限 とします。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。	

<購入時手数料について>
① 「購入代金」とは、
(購入価額×購入口数)+購入時手数料
+購入時手数料に係る消費税等相当額
を指します。
② 収益分配金を再投資する際には、購入
時手数料はかかりません。

※ 「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。
※ 投資者の皆様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社、その他の関係法人

- 委託会社 ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
信託財産の運用指図等を行います。
ホームページアドレス <https://funds.dws.com/ja-jp/>
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 信託財産の保管・管理等を行います。
- 販売会社 株式会社三井住友銀行 他 当ファンドの募集の取扱い等を行います。
投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。
- 投資顧問会社 DWSインベストメントGmbH(所在地:ドイツ フランクフルト)
委託会社から運用の指図に関する権限の委託を受け、マザーファンドの運用指図等を行います。

投資信託に関する留意点

- * 投資信託をご購入の際は、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」を必ずご覧下さい。これらは三井住友銀行本店等にご用意しています。
- * 投資信託は、元本保証および利回り保証のいずれもありません。
- * 投資信託は預金ではありません。
- * 投資信託は預金保険の対象ではありません。預金保険については窓口までお問合せください。
- * 三井住友銀行で取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- * 三井住友銀行は販売会社であり、投資信託の設定・運用は運用会社が行います。

<ご留意事項>

投資信託のお申込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいませうお願い申し上げます。
■ 当資料はドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。■ 当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。また、使用しているデータについては特段の注記の無い限り、費用・税金等を考慮しておりません。■ 当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。■ 投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、すべて投資信託をご購入のお客様に帰属します。■ 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。■ 投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。■ 登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。■ ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。